



3. 検査実施体制

(1) ダブルチェック実施体制 (該当する番号に○をつけること)

実施体制	1. ある	2. ない	
対象検体	1. 全検体	2. 疑陽性以上	3. その他 ( )
担当者	1. 細胞検査士	2. 細胞検査士と細胞診専門医	3 その他 ( )

※ダブルチェックとは、検体のスクリーニングを2名以上(細胞検査士、または細胞診専門医)により実施することを意味する。

(2) 最終診断実施体制 (スクリーニング実施後の最終診断実施方法および最終診断担当者)

- ①クラス ( ) 以上の検体について実施
- ②その他について実施 ( )
- ③最終診断担当者 ( )

(3) 要精検者の追跡調査実施 (該当する番号に○をつけること)

実施体制	1. ある	2. ない
追跡調査率	( ) %	
細胞診陽性者の過去の成績との調査・検討の有無	1. 行っている	2. 行っていない

※追跡調査とは、要精検者が出た場合、その患者について追跡し、生検や組織診断など最終診断を確認すること

4. 検体の保存期間 ( ) 年

5. 子宮がん部会が指定する研修会への参加状況 (過去3年間の状況を記入すること)

参加年月日	研修・講習会等の名称	主催者名	参加者氏名

【本申請書に関する照会先】

部署名
担当者名